

◎ミリスロール注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ニトログリセリン (U) nitroglycerin 【分類】 ニトログリセリン注射液

【単位】 ◎1mg/A [2mL] ・ ◎25mg/V [50mL]

【常用量】 0.05～5 μ g/kg/min

【用法】 点滴静注、静注

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (3)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (3,12)

【特徴】 高投与量では降圧作用。低用量では静脈拡張作用と軽度の動脈拡張作用により、急性心不全を改善 (前負荷の低下)。

【主な副作用・毒性】 頻脈、不整脈、頭痛など

【Cmax】 20～54 μ g/min を 40～100min 点滴後の定常状態濃度は 3.4ng/mL (13)

【代謝】 肝代謝 (1) dinitrate 代謝物は nitroglycerin の 10%以下の活性があるが、t1/2 が 40min 程度に延長する (13) G 蛋白 β 3 サブユニットの多型が血管反応性に影響する (Mitchell A, et al: Clin Pharmacol Ther 74: 499-504, 2003)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 1%以下 (13) 【CL】 230mL/min/kg (15)

【t1/2】 0.5min、5min (2 相性) 3min (10) 2.3min (13,15)

【蛋白結合率】 60% (11)

【Vd】 3.3L/kg (13, 15)

【MW】 227.09

【透析性】 脂溶性が高く Vd も大きいため、透析では除去されにくいと思われる (5)

【TDM のポイント】 有効血中濃度域 1.2～11ng/mL (15) TDM の対象にならない 【O/W 係数】 高い (11)

【相互作用】 PDE5 阻害剤との併用禁忌 (1)

【備考】 ジエチルヘキシフタレート (DHF・可塑剤) 入りの塩化ビニル (PVC) に本剤は吸着されやすいので、柔軟性のある塩化ビニル製、シリコン製の点滴セット、延長チューブ、IVH バッグは使用しないこと。

【更新日】 20191224

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。